

今後の津波対策について

現在の地域防災計画では・・・

【想定】

地震	留萌沖 マグニチュード7.0（震度5）
津波	29分後、高さ1m程度

【対策】

情報伝達	防災行政無線、広報車、FMもえる、防災連絡員等を活用し、避難対象地域の市民に海浜からの退去とテレビ、ラジオの聴取等十分な警戒体制をとるよう周知
警戒体制	津波警報、津波注意報の発表により潮位、水位の監視等の警戒
巡回調査	河川、港湾、漁港、ポンプ場等の各関係施設の巡回調査
避難	津波避難所（留萌小、沖見小、北光中、三泊小）の開設。 緊急避難として最寄の高台や鉄筋コンクリート造3階建以上の建物への避難を指示

津波ハザードマップ（津波浸水予測図）の取り組み

北海道による「津波シミュレーション及び被害想定調査」（平成22年3月）

地震の想定	北海道北西沖（沖側）地震 北海道北西沖（沿岸側）地震 留萌沖地震	いずれもマグニチュード7.8程度
津波の想定	留萌沿岸への影響開始時間	最短で 25分 / 最大遡上高 5.91m

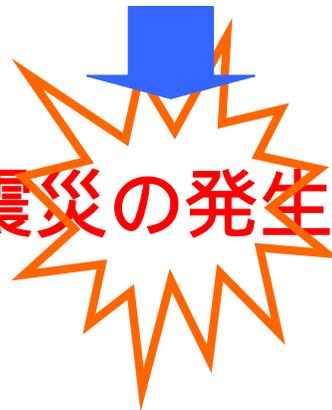


津波ハザードマップ（平成23年3月の完成を予定）

- ・ 予測される浸水の深さを色分けし、浸水の範囲に応じて市街地を塗りつぶし
- ・ 避難所及び避難場所を標示
- ・ 沿岸部や港湾周辺、明元町、錦町、開運町などの浸水想定地域や公共施設、関係機関等に配布を予定

未完成

東日本大震災の発生により中断



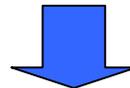
今後の取り組みと課題

おおまかなスケジュール

平成23年度	北海道が、津波シミュレーションの練り直し（災害の設定と被害想定の見直し）
平成23年 夏～秋	留萌市で、「沿岸緊急避難路調査事業」実施（三泊町～礼受町までの沿岸部） 沿岸部の市民が、津波発生時に、高台へ迅速に避難するための避難路を調査選定
平成24年3月	北海道が、新しい津波シミュレーションのデータ公開（予定）
平成24年度	留萌市で、津波ハザードマップ作成に着手
平成25年春	津波ハザードマップ完成。市民説明会、マップ配布など（予定）

東日本大震災の教訓から **《早く 安全なところ（高い場所）へ 逃げる！》**

課 題	<ul style="list-style-type: none">・ 防災行政無線やFMもえるを使った確実な情報伝達について検討・ 避難所、避難場所を災害に合わせて区分（耐震性、海拔、高さなどの調査）・ 避難路の調査、設定、管理を検討・ 市内公共施設、道路などに海拔や避難路などの標示を検討・ 町内会の自主防災組織設置の推進と自主的な避難訓練の実施・ 高齢者等の避難支援計画の策定 など
-----	---



国や北海道と連携して可能な事項から順次実施